

子育て環境日本一を目指すために

いま子育て中の皆さんに聞いてみました。

私の提言

ルールを守る元気な子どもに

◆子どもは育った環境に大きく影響される

子どもは、元気でルールを守り、礼儀作法を小学校高学年までには身に付けてほしいと思っ
ている。通勤していた頃、車内で20代前半の女性3人が座席にあぐらをかいて大騒ぎし、テッシュも散らかしたまま、注意したら、「何を言っている、言われる筋合いはない」と言われてびっくり、仰天。その女性たちがどのように育ち、どんな職場でどういう仕事をしているのか大変疑問に思った。

◆指導する側、責任者は自らもっと行動を

企業巡りをしていた頃、元気な企業は、掃除も行き届いていて、社員もきちんとあいさつを交わしていたが、元気のない企業は、草だらけで落葉がいっぱい落ちており、社員はいいさつもしない状態だった。指導する側にも問題があるのではないかと感じた。

野球部やサッカー部と思われる生徒がグラウンドに向かって走って



◆地域交流は子どもを交えて

昔は、地域でお祭りの日に、毎年当番の家庭で食事会を行っていた。子どもも集まり、世話をする人たちが、名前を聞いて、食べる時の行儀、作法を教えていた。このことにより子

きたり、自転車できたりしてよくすれ違ふところがあるが、必ず元気にあいさつをしていく。その一方、他の学校の生徒の中にはすれ違ふことのできない狭い道路で車が来ても、自転車を2列、3列と並んで走り、止めようともしないことがあった。企業も学校も仕事や勉強だけではなく、人間関係をもっと大事にするべきではないか。善悪の区別や人間としてあるべき姿を上司や先生方が身を以て示すべきではないかと思う。

◆土とのふれあいは元気のもと

自然豊かなところで、はたして下手を走っている子をよく見かける。素足で土を踏ませることは、健康にもよく丈夫で元気な子どもになると思う。また我慢することを覚えることにもなる。家でも素足で庭を歩かせる必要があるのではないか。自然に数多く触れ合うことで、体質的にも丈夫になり、アレルギーの防止にもきつと役立つと思う。

◆矢板の第一印象を

出生地が旧小川町ですので、子どもの頃から高原山を見ながら育ったようなものは、だから矢板はふるさとに帰ってきたような気がします。朝、近くの長峰公園でジョギングし、高原山を眺めていると清々しい気分になります。

おかめはちもく 岡目八目



矢板警察署長 大笹 節さん(57歳)

平成25年3月に矢板警察署長に就任。官舎にて単身赴任中。前任地は県警本部機動隊。那珂川町(旧小川町)生まれ。趣味は、読書。

市外から矢板の事業所に来ている方や、市外出身の方の目を通して、矢板の魅力に迫ります。

●矢板のお気に入り場所

長峰公園はもちろんのこと、高原山の四季はそれぞれ素晴らしいところ、先日は八方の滝巡りもしました。

●矢板警察署の重点テーマはなんですか?

矢板署管内(塩谷町と矢板市)は大きな事件が無く、万引きや自転車盗難が多いため、九月からは自転車の盗難予防、駐輪場を巡回、鍵を

●矢板のお気に入り

赴任前に腎臓の手術をしたので、禁酒と減塩を心掛けています。そのため、玄米と野菜を中心にした食事を自炊しています。「道の駅や果物、

●振り込め詐欺がまだ発生していませんか?

矢板署管内で今年に入って八件、総額で三千万円以上の被害が発生しています。銀行でも多額の引き出しには注意していますが、犯人側は引き出しの理由をうまく指導?(例、リフォームするからその費用に)しているようです。おかしいな?と

●警察犬にも感謝状

先日、片岡地区で空き巣事件が発生して、すぐ、片岡駅にいた不審者を確保しました。警察犬を要請して、駅から臭いをたどったところ、空き巣の現場に行きついたので、犯行を裏付ける一つの証拠ともなりました。犯人逮捕の一役をこなってくれた、このワンちゃんに感謝状を贈りました。

また、まちをきれいにすれば犯罪の減少や防止に役立ちます。最近では、駅前交番や長峰公園を花いっぱいにしたり、ゴミを拾っていただいているボランティアアグループの「矢板花の会」に感謝状を贈りました。

編集後記

ンたなに年間来よりしき方今未。すのまの。代たま板しで園す前しり矢集響ゴまりまあで特影ンげよりで号をのり上にあ年す前ゴ号たし風がなま26け申台害穏い風受けや災平て台を舞巻然、つが、害見竜自は願が被おはの年う